



MIYAMOTO Saburo: Interiors — Figures and Still Lives

宮本三郎 部屋のなかで

——人物と静物をめぐって

《隠不詳（箱み物）》1945～48年頃

2025年4月1日[火]——→9月7日[日]

開館時間 | 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、5月5日(月・祝)、5月6日(火・振休)、7月21日(月・祝)、8月11日(月・祝)は開館、5月7日(水)、7月22日(火)、8月12日(火)は休館

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

※障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料、介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。 ※()内は20名以上の団体料金 ※世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL.03-5483-3836

<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

□休館日 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)

5月5日(月・祝)、5月6日(火・振休)、7月21日(月・祝)、8月11日(月・祝)は開館

5月7日(水)、7月22日(火)、8月12日(火)は休館

□開館時間 10:00～18:00 入館は17:30まで

□観覧料 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)
障害者100円(80円)

※小中高大学生の障害者は無料

※介助者(当該障害者1名につき1名)は無料

※()内は20名以上の団体料金

※世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

□展覧会概要

洋画家・宮本三郎（1905-1974）が、生涯にわたって制作活動の中心に据えたのは、人物を主題とする作品でした。なかでも室内画における人物表現に注目すれば、アンリ・マティスの影響が色濃い装飾的な構成をベースに、それと拮抗するような「人」の存在感が、独特の緊張感を画面に生み出していることに気がつきます。

奥沢の自宅アトリエで、プロの絵画モデルを前にデッサンを重ね、丹念に練り上げた作品の数々や、疎開先の故郷・石川県で家族や身近な人物を描いた親密な雰囲気のある室内風景—それぞれ時代ごとに表情を異にしながらも、宮本が注力した人物画に通底するのは、主題に注がれる鋭い観察眼です。本展では、室内表現やそれらを彩る小道具としてのモチーフにも注目しながら、宮本が描きだす人体と人物の魅力を探ります。

人物表現においてことさら評価されることの多い宮本の描写力は、一方で静物画にも発揮されています。テーブルに置かれた花器や果物、皿に盛られた魚介—それぞれ対象の本質をつかみ取るようにして描かれた静物画の数々も、あわせてお楽しみください。

□宮本三郎について

宮本三郎（みやもと・さぶろう）は、1905年5月23日に現在の石川県小松市松崎町に生まれ、1935年7月より世田谷区奥沢にアトリエを構えた、昭和を代表する世田谷区ゆかりの洋画家です。

川端画学校で富永勝重、藤島武二、また個人的には安井曾太郎に指導を受け、戦前は二科展を中心に発表を行いながら、雑誌の挿絵や表紙絵の制作でも活躍。戦時中は従軍画家として藤田嗣治、小磯良平らとともにマレー半島、タイ、シンガポールなどに渡り《山下、パーシバル両司令官会見図》（1942年）をはじめ、数々の作戦記録画を制作しました。戦後は、熊谷守一、田村孝之介らと第二紀会を設立。生来の素描力を土台に、さまざまに画風を変えながらも、人物を主たるテーマとして制作、晩年は花と裸婦を主題にした豪華絢爛な絵画世界を構築します。

1974年10月13日、腸閉塞による心臓衰弱のため、69歳で他界。



撮影 藤原正（撮影年不詳）

□会期中のイベント

ワークショップ、ギャラリートークなどのイベントは決定次第HPにてお知らせいたします。



参考：2024年8月10日～12日開催

「サマー・ワークショップ2024 わたしのカラーコーディネート」

宮本三郎 部屋のなかで

— 人物と静物をめぐって —

□各画像は広報用として提供しております。

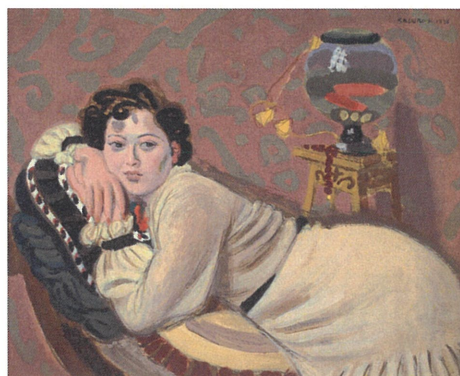
ご希望の際は広報担当までお問合せください。

TEL:03-5483-3836

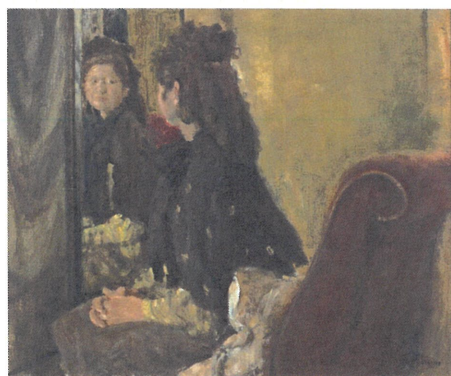
mail:miyamoto.annex@samuseum.gr.jp



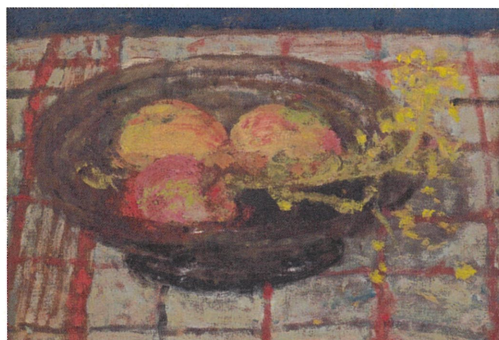
1 《(ベッドに横たわる婦人像)》1938-39 年頃



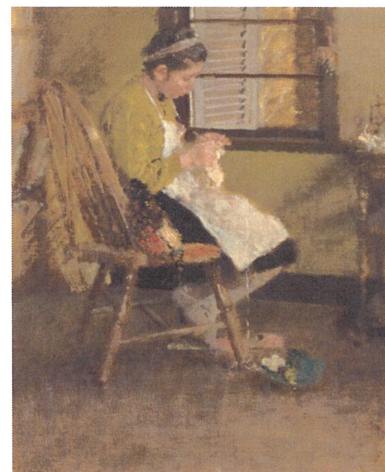
2 《赤い背景》1938 年



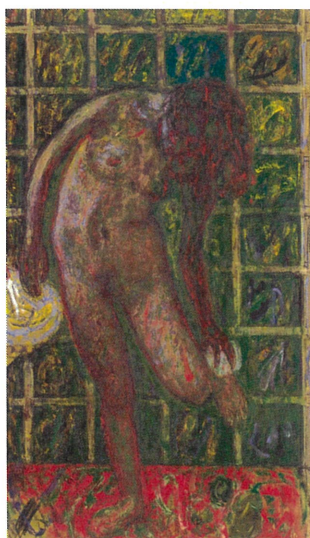
3 《(鏡の前の婦人像)》1945-48 年



4 《(静物・果物)》1945-48 年頃



5 《(編み物)》1945-48 年頃



6 《(化粧室の裸婦)》1945-48 年



7 《(魚)》1957-58 年頃



8 《(西瓜)》制作年不詳

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL.03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>